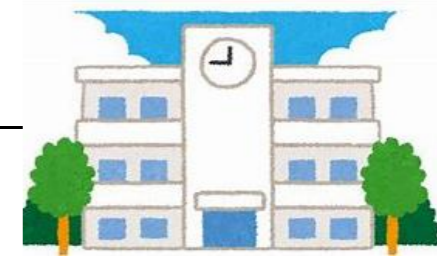


# 学校評価結果について

広陽小学校

令和3年9月吉日

秋涼の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、学校では、この大切な子どもたち一人一人が成長していけるよりよい学校にするために、児童アンケート、保護者アンケート、教員アンケートを基に学校評価を行っています。前期の結果と改善策、保護者・学校関係者評価委員の皆様からいただいたご意見をお知らせいたします。



## ○アンケート結果より

	重点取組	指標・評価観点	評価方法	評価結果		分析と改善策
				前期		
学校経営	・子どもたちは学校で楽しく過ごしている。	・安心して学ぶことができる居場所づくりをしている。 ・安心して学んでいる。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	92%A 86.4%B 86.7%B		質問①「嬉しい時はどんなときですか」に対し、「テストで100点をとったとき」「初めてさかあがりが出来たとき」等の回答が見られました。また②「楽しいときはどんなときですか」の質問には「遠足で鬼ごっこをして楽しかった」「休み時間、友達とドッジボールをするのが楽しい」等の回答が見られました。 2学期以降も①安心して学ぶことができるようわかる授業を実施すること②コロナ禍ではありますが十分な配慮のもと人と関わることを大切にしながら指導を行っていきたくと考えます。
学習（主体的に取り組む子）	・ねらい（育みたい資質・能力）を明確にした授業を行っている。	・ねらいに合わせた児童の具体的な姿を設定している。 ・児童が学びや変容を自覚できるように、まとめや振り返りを書く場を設定したり、活用問題の場を設定したりしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	92%A 85%B 82.6%B		学年で連携しながら教材研究をし、授業を行う際には、ねらいや児童の具体的な姿を思い浮かべながら取り組んできました。授業後には、その授業の成果と課題を振り返り、次の授業への取組につなげられました。しかし、活用問題まで取り組みなかつたり、児童自身が自分の言葉でまとめや振り返りを書いたりするまでには至っていないこともあり。今後は、既習提示の活用、板書の工夫、教材教具の工夫を充実させることで、授業の後半に活用問題の時間を確保したり、まとめや振り返りを自分自身の言葉で書けるように鍛えていきたくと考えます。
	・根拠を明確にして説明ができる。	・ペア・グループ活動中及び全体交流の場で、根拠を明確にして説明している。	教職員アンケート 児童アンケート	80%B 71.3%C		根拠と理由を区別しながら考えを持たせたり、伝えたりする機会が不足していました。何が根拠になっているのか、児童自身が自覚していなかったと考えられます。 2学期からは次の3点について共通理解を図り実践していきます。 ①「どこから考えたの？」と教師が問い返したり、児童自身が根拠を示しながら話せたときには、全体に広めたりして、根拠をもとに考えさせることを意識させていきます。②また、教師と子供同士だけで言葉のキャッチボールを行うのではなく、子供同士でもできるようにしていきます。③さらに、自分の力でまとめを書く（低学年：穴埋め、中学年：キーワード、高学年：自分の力で）ことを通して、根拠と理由を意識して説明できるようにしていきます。
生徒指導（思いやりを形で表す子）	・「おすし掃除」をする。 ※「おすし」おわりまで、すみずみきれいに、しゃべらずに	・必要のないことは話さずに掃除をしている。 ・自分からすみずみまで汚い所を見つけて掃除している。 ・落ちているゴミを拾っている。	教職員アンケート 児童アンケート	80%B 88%B		全体的に隅々まで掃除をする子どもが多いですが、しゃべり声が聞こえる場所がいくつか見受けられました。また、反省会後に教室に戻ろうとする子どももおり、時間いっぱいまで落ちているごみを拾う様子があまり見られないといった姿も見られました。 2学期以降、6年生の掃除リーダーを中心に担当者として「おすし掃除のし」について情報を交換し、必要に応じて対象児童を指導します。チャイムが鳴るまでそうじ場から移動はしないので、終わりまで高学年の児童は反省会後もごみを拾う、ほうきではなく見本となる行動を心掛けさせます（率先して高学年が見本となる行動を行う）。「高学年を育てる」、「自主性を育む」という観点を大切にしながらそうじを見守っていきたくと思います。
	・子どもたちは、いじめられたり無視されることなく、安心して過ごしている。	・子どもとの関係づくりに努めている。 ・学年、チームで連携していじめ問題の解決を図っている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	84%B 84.6%B 86.5%B		アンケートの聞き取りを丁寧に行い、内容を学年で共有したり、未然防止の観点のアンケートを学校全体で把握すること、その結果を月ごとの点ではなく、1学期通じての線で見えるようにすることで子供の心を把握するように努めてきました。また、たてわりの教員が担当児童を意識的に見ていくような体制を整えました。生徒指導が進んでいる ①たてわり・クラブ・委員会の教師による担当児童への日常的な声かけ ②素敵な児童に〇〇カードのプレゼント ③帰りの会での「今日のナイスさん」コーナー等の実践がいじめ予防の観点からどのような意味があるのか共通理解を図り、取り組んだ後は、振り返りを行い、全体にフィードバックさせていく予定です。
特別活動健康（しなやかでたくましい子）	・目標に向かってのびのび運動する。	・体育の時間に全力で取り組めるように目標を提示している。 ・目標に向かって一生懸命体を動かしている。	教職員アンケート 児童アンケート	76%C 89.1%B		子どもたちは自分たちなりにめざす姿や目標をもって体育に取り組んでいる姿がわかりました。一方、先生は肯定的評価がかなり下がっています。集計の仕方にも問題の可能性があります。コロナ禍、熱中症対策など制約が多い中、目標に向かい運動をさせることの難しさを感じる実情がうかがい知れる結果となりました。 子供たちに目標を示しやすくするために、同学年はもちろん、内容のつながりがある前後の学年との連携や情報交換をするようにします。新体力テストでは平均記録を体育館入り口の掲示板に張り出しましたが、同じような取り組みを持走やなわとびでも2学期以降行います。
地域・保護者	・各種便りやホームページなどを通じて、保護者への情報発信に努める。	・各種たより（学校便り・学年便り・保健便り・図書館便り・給食便り）を月1回出している。 ・学年便りに写真を掲載している。 ・ホームページは月1回更新している。	教職員アンケート 児童アンケート	76%C 80.9%B		昨年度後期と比較して、やや低い結果となりました。保護者アンケートでも「ホームページの充実化。子供の活動の様子をリアルタイムに発信してほしい」という意見がありました。2学期からは、各学年便りにも活動の様子がわかる写真を掲載し発信していきます。また、ホームページも見やすいよう改善しましたので、各学年の様子も月1回は更新していきます。

## ○保護者（自由記述）より

- ・ベルマークはいつ回収するのですか？
- 日頃からベルマークの回収にご協力いただきありがとうございます。今年度、コロナ禍で回収を実施できていない状況です。今後の予定につきましては、PTAベルマーク委員会と相談しながら、その時期と方法についてお知らせいたします。
- ・ランドセルが重たくなっています。中学は「置き勉」可と聞いていますが…
- 2018年9月文科省より、宿題に使わない教科書を学校に置いて帰る「置き勉」を認める通達がありました。本校においても、学年・クラスの実態を考慮し、一部の教科で「置き勉」を実施しております。今後も「置き勉」と併せ、特定の日に持ち物が偏らないよう、数日に分けて持ってくるなど工夫をしていきたくと考えます。
- ・夏は暑いのでTシャツ可にしてほしい。
- PTA役員会においても、服装に関するご意見を頂きました。今後、中学校とも連携を図りながら服装に関する見直しを行い、来年度に向けて検討してまいります。

## ○学校関係者評価委員会より

- ・子ども達が生き生きと学習に向かっている姿が見られてよかった。教師の話を生懸命聴いて、落ち着いた学習態度であった。
- ・マスクの大きさが合っていない子もいたので、保護者と共に連携していくとよい。
- ・休み時間に、子供達からたくさんの気持ちの良い挨拶をもらった。この挨拶が地域に戻ってからもできるようにしていくことを願いたい。